ぐんぐん すくすく！相生っ子!

住所 相生市緑ヶ丘４丁目5-5
電話 0791-23-5070　FAX 0791-22-7211
E-mail　ikusei-aioi@bz03.plala.or.jp

第44回　相生市青少年健全育成市民大会

１　日　　時　令和７年１月２６日(日)　午後１時００分～午後３時２０分
２　場　　所　相生市文化会館 扶桑電通なぎさホール
３　プログラム

（１）　さわやかあいさつ運動表彰
（２）「相生における少年非行の概況」　　相生警察署長
（３）　いじめ防止サミットの報告　　いじめ防止サミット委員会
（４）　子どもたちのメッセージ　　相生小、那波小の児童代表
（５）　記念講演　　長谷川　満　氏
　　演題　「自信とやる気を引き出すプラスの問いかけ」

近年相生市でも、ネット・スマホによる加害・被害や家庭内での子どもに対する心理的虐待の事案が急増しています。こんな時代だからこそ、私たち大人が、犯罪や非行に対する規範意識を高めるとともに、『絆』を求める子どもたちのシグナルをしっかりと受け止め、家庭・学校・地域の連携を図り、青少年の健全育成に努める必要があると考えます。

市内の小学生、中学生が学校で取り組んでいる内容の発表もあります。子どもたちの取り組みを知っていただき、今後も、子どもたちを温かく見守り、応援していくための共通の認識が広まるような大会にできたらと考えています。

何かと、お忙しい時と思いますが、是非、ご参加いただきたいと思います。

東井義雄　いのちの言葉〈12月〉　～『東井義雄一日一言』(致知出版社)より～

支えられて

座っていると座敷が
私を下から支えてくれる
廊下に出ると廊下の床が
私を支えていてくれ
便所に行くと便所の床が
私を支えていてくれる
大地に下り立つと
大地がわたしを支えてくれる
どこへいっても　どんなに背いてみても
そのわたしを　待ち　抱きとり
支えつづけてくれるものがある

みんなが
無視し　見放しても
無視することもなく　見放すこともなく
支え続けてくれるものがある
どこへいっても
何をしているときも
忘れているときも
私を支えてくれているものがある

【とおい・よしお】「いのちの教育」の探求に尽くした日本の教育者。兵庫県豊岡市但東町佐々木に生まれる。小学校教師として村を育てる教育を実践。ペスタロッチ賞、平和文化賞、小砂丘忠義賞、文部省教育功労賞受賞。

終わりの時

一日一日も、一週間にも、ひと月にも、必ず「終わりの時」が用意されています。とうとう、今年も、その終わりの月を迎えることになってしまいました。

終わりの時は、私たちの人生の上にも用意されています。そのときも、確実にやってきます。

終わりの時は、私たちに一番急がねばならぬことは何かを目覚めさせ、それを確認させるために用意されているのではないでしょうか。

「コトバも自分に返ってくる」~日本一無口な講演より~

詩画家　河村 武明

34歳の時、脳梗塞を発病し、その後、失語症、聴覚障害、発音が困難になる構音障害、右手麻痺という重い障害が残ります。しかし、絶望に陥った河村さんが、発病前の自分がいかに幸せだったことに気づきます。その時から、そんな大切な事に気づかせてくれた障害を受け入れ、苦しい時こそ「ありがとう」と感謝することにします。
現在は、画家として活動しながら、全国で講演をしている河村さん。病気の後遺症で喋ることができないため、講演の時は奥さんが原稿を読んでいます。

僕は20年以上宇宙の法則を研究して、ちょうどブーメランのように「投げたものは自分に返ってくる」という法則があると分かりました。

自分が言った言葉は、自分がした行為は、自らが受け取ることになる。自分でまいた種を自分で刈るということですね。

原因があるから結果がある。ブーメランのように、投げたものが自分に返ってくる。

小学校・中学校の講演に行く時は、「いじめ」について、生徒さんに向かってこんな話をします。

「ブーメランのように投げたものは自分に返ってくる」

ですから、もし、みんなの中で誰かをいじめている人がいたら、その結果は、自分の『損』になって返ってくるんですよ。

ブーメランのように「コトバも自分に返ってくる」自分の口から発する言葉が人生を作ると考えてほしいんです。

今から、ブーメランの実験をします。

ヤマダ君、タナカ君、サトウ君の三人がいます。名前を呼びます。

「ヤマダ君！」と言ってください。せーの。ヤマダ君が来ましたね。

「タナカ君！」言ってください。タナカ君が来ましたね。

次に心の中で「サトウ君！」と言ってください。サトウ君は来ますか？来ませんね。

どうしたら、サトウくんは来ますか？

今度は実際に口で「サトウ君！」と言ってください。

実際に口で言葉を言ったら、サトウ君は来ました。

では、この子らに別の名前をあたえます。

「つらい」「さいあく」「ありがとう」とします。

皆様、つらい時に「つらい、つらい、つらい」と言っていたら、何が来ると思いますか。

そう、つらい君がやってきます。「さいあく」と言うと、いつまでたっても、ありがとう君はやって来なくて、さいあく君がやってくる。余計に「最悪なこと」が来るのです。

見事にブーメランのように自分が発した言葉が自分に返ってきましたね。

それでは、「ありがとう、ありがとう、ありがとう」と言ったら、何が来ると思いますか？

そう、その言葉通りのことがやってくるのです。それほど私たちの発している言葉には力があるのです。これは言霊(ことだま)と言われるものです。

「ヤマダ君」と言ったら、ヤマダ君が来るように、「ありがとう」と言ったら、「ありがとう」と言いたくなるようなことがやってくる。

「さいあく」と言えば、「さいあく」なことがやってくるのです。

しゃべれないボクは、みんなが「怒り、不平、不満、グチ」の言葉を言うのを見たら、「大変もったいないなぁ~」と感じます。

せっかく、皆さんは自由に言いたいことを言える才能があるのに・・・。

「言葉は大切だよ」

「いじめは自分まで返ってくるよ」

「自分の口から発する言葉が人生をつくるよ」

こんな話を全国の子ども達に言っています。

これが自分の使命だと思って、これからも無口の講演をやり続けます。

「ながら見守り」
で子供たちを見守りましょう

「ウォーキング」をしながら
「ジョギング」をしながら
「犬の散歩」をしながら
「水やり」をしながら

普段の生活の中で